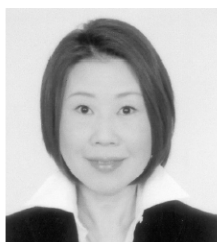


# 魅力的な語り手になろう

大阪文学コース

## 朗読



講師  
高橋 邦子  
きつたか  
くにこ

### 略歴

フリーアナウンサー  
親和女子大学（現・神戸親和女子大学）卒業後、NHK報道番組部のリポーターを務める。その後フリーとなり、各局にてパーソナリティーとして活躍。現在、千里金蘭大学『教養話し方』非常勤講師、『公開講座・絵本がよみたい』講師。

### advice points

- 教材と同じ絵本の「大型絵本」を図書館で借りておくことが望ましい。
- 教材の絵本は受講者数分を購入、または全ページのコピー（製本）を人数分準備する。

### より発展的な ワークショップを 実施するために

- 新聞記事や雑誌のコラムを教材に、アナウンサーの読み方を学ぶ。
- 簡易書きの求人広告などを、話し言葉に直してわかりやすく伝える練習をする。

### 目的

- 聞き手の心に響く声の表現を学ぶ。

### 効果

- 絵本を通して目に見えない大切な世界を聞き手に伝えられるようになる。

### 到達点

- 豊かな声の表現力を学ぶことによって、自分自身で考え、自由に表現できる力と社会で役立つスキルを身につける。



### 事前学習

絵本の内容把握 と、「口の体操」（宿題プリント配布）演習をする。

### ワークショップの流れ（2日間く2コマ/日）

発声の基本練習（口の体操）

講師による絵本の読み聞かせを鑑賞

絵本の持ち方、めくり方、読み方など要点解説

教材の詩を群読練習し、グループごとに発表

絵本読み聞かせの要点アドバイス

講師による絵本〔教材〕の読み聞かせを鑑賞し、読み語りの要点解説

グループで読み聞かせ練習し、グループごとに発表

発表の講評及び絵本の読み聞かせの要点アドバイスと、まとめ

### 事後学習

多くの絵本に触れ、幼稚園や小学校の児童に読み聞かせ実習を行なう。

### …ワークショップを実施して…

#### 講師の感想

最初は、感情をこめて読むのを恥ずかしがる生徒が多かったが、発声のコツや登場人物の役柄の表現の仕方を理解し、上手に読める生徒が出始めると、全員が熱心に声を出すようになった。幼い子どもたちの心に訴えるような読み聞かせをするには、まず自分が人の話に耳を傾け、相手の気持ちを理解することが重要であることを学んでもらえたと思う。

#### 先生の感想

講師の魅力と指導力に、生徒たちは目を輝かせ、読み方がどんどん変化していった。教員としては、各生徒の上手な点・改良すべき点を客観視できた。十分な受講時間をとれなかったが、事前の意識づけや自宅での練習を徹底すれば、短時間でも効果を高めることができたと感じた。幼稚園教諭や保育士を志望する生徒が多いので、今後も同様のワークショップを実施できればと思う。

#### 生徒の感想

- 絵本の朗読は、声の大きさ、口の開け方、めくり方、間のとり方など、大切なことがたくさんあることがわかった。
- 絵本の登場人物になりきって読めば、子どもたちの想像の世界も広がることがわかった。
- 講師の朗読は、まるで何人も声優が演じているようで、すっかり引き込まれた。
- 将来がんばって保育士になって、たくさんの子どもの心に素敵な話を伝えたいと思った。